

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域情報活用支援事業			事業番号	038-125
担当部署名	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2		

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法 図書館法		
<b>事業の概要</b>				
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民に限らず、堺の地域資料・情報に関心のある方	対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	多様なニーズをもつあらゆる人が地域資料の情報を活用できるようにすること。 (例) 堺の歴史文化に関心のある方への調査協力、資料提供 行政資料・統計資料等、起業やビジネス、行政関係者の課題解決支援に役立つ資料・情報提供。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図書だけではなく様々な形態の資料や書店等では入手できない行政資料・パンフレット等、散逸しがちな地域資料を収集し、利用者に提供できるよう、年間3千点程度の資料の整備、データ化を進める。</li> <li>■ 所蔵する歴史資料など、貴重資料の保存と、積極的な利用の向上のため、マイクロフィルム化やデジタルアーカイブ構築を進め、インターネットや館内の端末による情報発信を行う。</li> <li>■ 地域の記録を市民と協働でデジタル保存を行い後世に伝える。年に1回、学術研究誌『堺研究』を発行し、堺の歴史・文化に関わる情報を全国に発信する。</li> </ul>		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者		
10	公民連携・協働事業	—		

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	デジタル化したコンテンツの閲覧数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	234,000	234,000	234,000	234,000
			実績値	198,628	154,503		
	達成率	85%	66%				
	当該指標を選定した理由	デジタル化したコンテンツの周知、利用量と関連するため、デジタルアーカイブ、ホームページコンテンツの閲覧数を指標に選定。令和3年度から数値に波のあるHPコンテンツ1点の数値を削除。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度以降の目標数値は削除予定コンテンツの数を除いた令和2年度実績(212,563)の10%上昇で					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	1,760	1,150	1,150	
			実績値	1,045	957		
	達成率	59%	83%				
	当該指標を選定した理由	デジタルアーカイブの構築のためにはデジタル化が必要なため、新たにマイクロフィルム化、デジタル化した地域資料コンテンツ数を指標に選定					
	目標値の設定根拠・算出方法	マイクロフィルム化の価格上昇により目標値を修正					

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	地域情報活用支援事業	事業番号	038-125
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算		決算		当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	2,662		2,742		2,792	2,153	2,818	
13 財源内訳	国支出金				0		0	
	府支出金				0		0	
	市債				0		0	
	その他 ( 物品売払収入 )	9		7		8	5	7
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0		0
	一般財源	2,653		2,735		2,784	2,148	2,811
14 人件費 (b)	23,900		23,900		23,900	23,900	24,000	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	26,562		26,642		26,692	26,053	26,818	

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源		
					R4	決算				
16 事業費内訳	地域資料保存処理業務	R4	決算	272	272	謝礼金	R4	決算	309	309
		R5	予算	275	275		R5	予算	358	358
	地域資料マイクロフィルム化業務	R4	決算	206	206	印刷製本費	R4	決算	354	349
		R5	予算	208	208		R5	予算	343	336
	地域資料デジタル化業務	R4	決算	399	399	通信運搬費	R4	決算	44	44
		R5	予算	418	418		R5	予算	0	0
	堺独自資料電子書籍化業務	R4	決算	143	143	消耗品費	R4	決算	162	162
		R5	予算	797	797		R5	予算	155	155
	堺市史デジタル化資料一般公開システム使用料	R4	決算	264	264		R4	決算		
		R5	予算	264	264		R5	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① デジタル化したコンテンツの閲覧数	回	198,628	154,503
② 上記①にかかる年間経費	千円	24,297	26,053
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	122	169

備考 (算出についての説明等) ■年間経費は 人件費+デジタル化業務費

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	資料のデジタル化を推進することにより、原資料の利用が抑えられ補修等の保存に関する経費が削減できる。 また、図書館に来館することなく、あらゆる人が資料を活用することができる。
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和4年度地域資料受入点数：2,367点</li> <li>■ 令和4年度堺独自資料新規電子書籍化数：41点 堺独自資料電子書籍総数は176点、閲覧数は6,908回。</li> <li>■ 2023年3月に『堺研究 45号』を発行</li> <li>■ 郷土資料展「没後80年 与謝野晶子展 ふるさとの 潮の遠音の」(関連資料約100点及び解説パネル展示)を中央図書館で実施 来場者は中央図書館417人</li> <li>■ 郷土資料展記念講演会「与謝野晶子の随想『私の生い立ち』」を実施。当日参加者25人のほか、申込制による動画配信を実施し、26人視聴。</li> <li>■ 令和4年度貴重資料の利用は、59件160点。</li> </ul>
----	--